議案第47号

倉敷市指定重要文化財の指定について

このことについて、次のとおり議決を求める。

令和5年8月17日提出

倉敷市教育委員会

教育長 仁 科 康

指定する文化財

1	名 称	備中国奉行小堀氏関係文書
2	種 類	古文書
3	員 数	5点
4	所在の場所	倉敷市真備町箭田1141番地1
5	所有者の氏名
及び住所	倉敷市長 伊東香織
倉敷市西中新田640番地
6	内 容	史料1 小堀正次書状
紙本墨書 折紙 31.3 cm×45.7 cm
史料2 備中浅口郡柏島御検地帳
第1冊 紙本墨書 縦帳 30.5 cm×23.0 cm
第2冊 紙本墨書 縦帳 30.0 cm×22.7 cm
第3冊 紙本墨書 縦帳 30.4 cm×22.8 cm
史料3 倉敷屋敷方御免被成分之帳
紙本墨書 縦帳 32.5 cm×19.1 cm
史料4 某書状 紙本墨書 折紙 26.8 cm×39.5 cm
史料5 片山久右衛門書状
紙本墨書 折紙 27.4 cm×39.8 cm
7	制作の年代
又は時代	安土桃山時代末期～江戸時代初期
史料1 小堀正次書状 慶長6～8年(1601～3)
史料2 備中浅口郡柏島御検地帳 慶長6年(1601)
史料3 倉敷屋敷方御免被成分之帳 慶長14年(1609)

史料4 某書状 慶長13年(1608)

史料5 片山久右衛門書状 慶長14年(1609)

8 指定の理由

慶長5年(1600)の関ヶ原の合戦後に徳川家康の命令で国奉行として備中国に着任した小堀正次・政一親子時代の倉敷市域の統治に関連する史料である。

現在の倉敷美観地区の辺りが「くらしき」と呼ばれたことが確認できるものとしては、倉敷市域に残る最古の史料であるとともに、当時の備中国内の物流経路・村々の生産力掌握の具体例がわかる非常に貴重な史料5点であり、倉敷市の重要文化財に指定して長く保存していくべきものである。